

ITベンチャーの雄が残したもの

大証ヘラクレス（正式名称ニッポン・ニューマーケット ヘラクレス）は、NASDAQ を運営するNASDAQ Stock Market とソフトバンクが、2000年6月に共同で立ち上げた新興企業向けの市場です。しかし新規上場の少なさや日米間の会計基準・法体系の相違からなる問題などもあり、2002年10月にNASDAQは業務提携を解消、以後大阪証券取引所が独自に運営することとなりました。また大証自身、2004年4月に同市場への上場を果たしています。

ヘラクレスへ上場を果たすには、スタンダード基準（1～3号）かグロース基準を満たす必要があります（ ）。また、審査期間1ヶ月・公募期間1ヶ月の計2ヶ月で上場が原則可能であること、90%の値付率という高い流動性を確保しているといった特徴があります。現在はスタンダード・グロース合わせて150社（スタンダード：88社、グロース：62社）が上場を果たしています。

主な上場審査基準

		純資産額	時価総額	利益額	事業継続年数
スタンダード 基準	第1号	6億円以上		1億円以上	
	第2号	18億円以上			2年以上
	第3号	負でないこと	75億円以上 1		
グロース基準		4億円以上 2	50億円以上 2	7,500万円以上 2	1年以上

- 1 または総資産が75億円以上かつ売上高が75億円以上。
- 2 グロース基準の場合、3つの内いずれかを満たせばクリアとなる。

